

統計分析情報

山陰労災病院(2012年)

ここに記載しています情報は、2012年1月1日から12月31日までの当院で診察した初発のがん(その部位に初めて出来たがんのこと)の統計分析結果です。この間に入院された患者さんを対象として分析を行い、1. がんの部位別、2. がん罹患者の男女別、3. 年齢別、4. がんに対する初回の治療内容別、5. 罹患患者住所別を記載しております。

1. 部位別
2. 男女別
3. 年齢別
4. 初回治療内容別
5. 罹患患者住所別

次回からは(2ヶ月毎の更新予定)、この分析を基にして、各項目についてわかりやすく解説する予定です。ご期待ください。



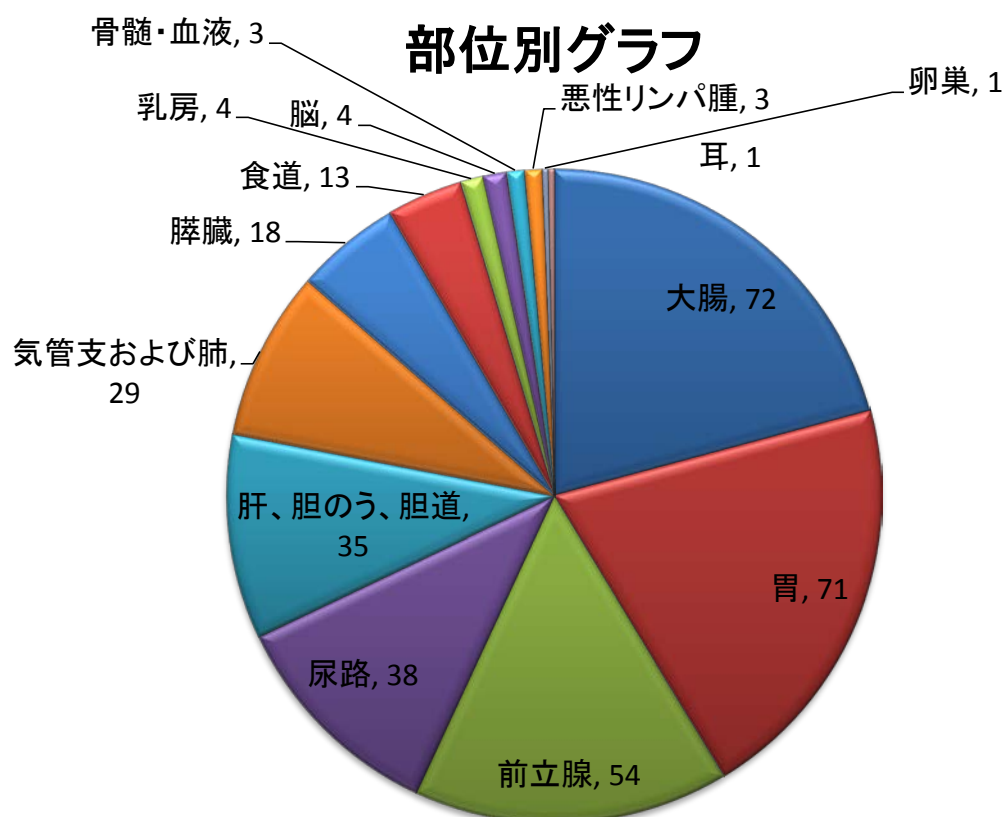
◆部位別◆

1. がんの部位別分析です。

当院では、大腸がんが最も多く、次いで胃がん、前立腺がん、尿路系のがん、肝胆膵系のがん、気管支および肺がんなどの順となっています。元々当院では、消化器、泌尿器系のがんの患者さんが多かったのですが、最近は気管支および肺がんが増加しており、さらに膵がんも増えています。

がん部位	男	女	合計
大腸	45	27	72
胃	48	23	71
前立腺	54	0	54
尿路	26	12	38
肝、胆のう、胆道	22	13	35
気管支および肺	22	7	29
膵臓	11	7	18
食道	11	2	13
乳房	0	4	4
脳	2	2	4
骨髄・血液	3	0	3
悪性リンパ腫	3	0	3
卵巣	0	1	1
耳	1	0	1
合計	248	98	346

部位別グラフ



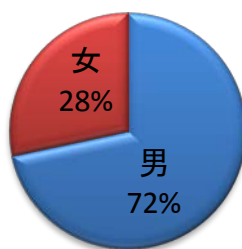
◆男女別◆

2. 男女別分析です。

男女比では、がん患者さんの2/3以上を男性が占めています。そして、前立腺、乳房といった性に関連するがん以外では、全てのがんにおいて、男性が女性の2倍以上となっています。

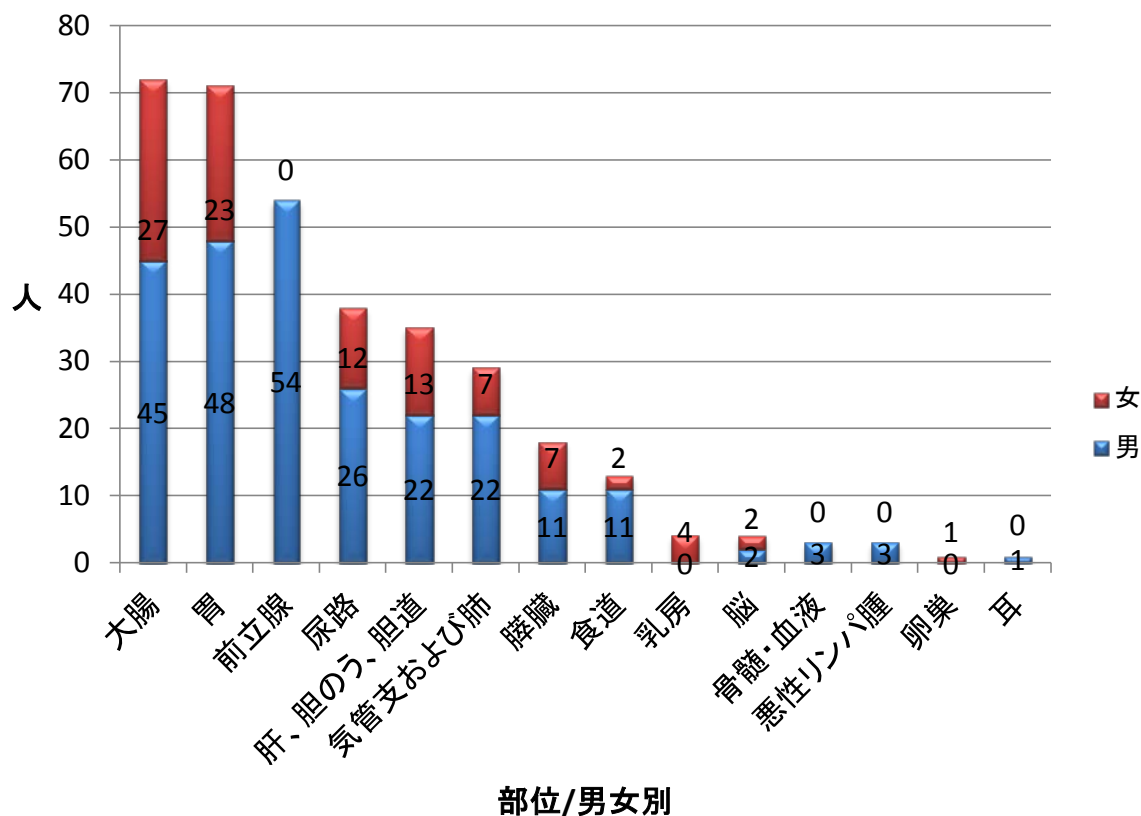
性別	
男	248
女	98
合計	346

男女比



◆部位・男女別◆

部位・男女別



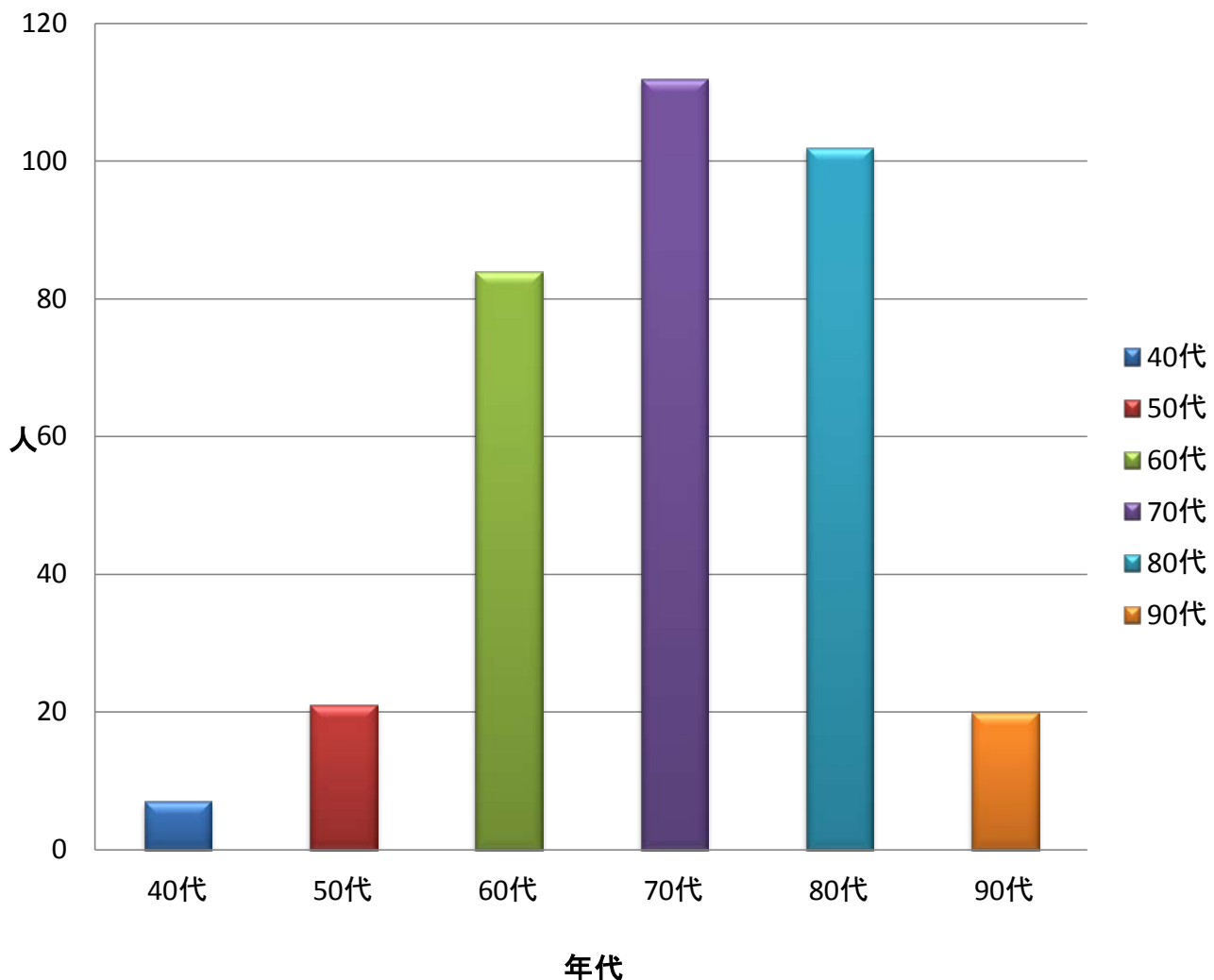
◆年齢別◆

3.年齢別分析です。

年齢別では、70歳代で最も高く、次いで80歳代、60歳代となっています。この年齢別分析の結果から判断できることは、定期の健康診断を40歳から受け始めると、効率よく、がんの早期発見に結びつくものと考えます。

年齢別	全体	男	女
40代	7	2	5
50代	21	17	4
60代	84	68	16
70代	112	85	27
80代	102	68	34
90代	20	8	12
合計	346	248	98

年齢別登録数



◆初回治療内容別◆

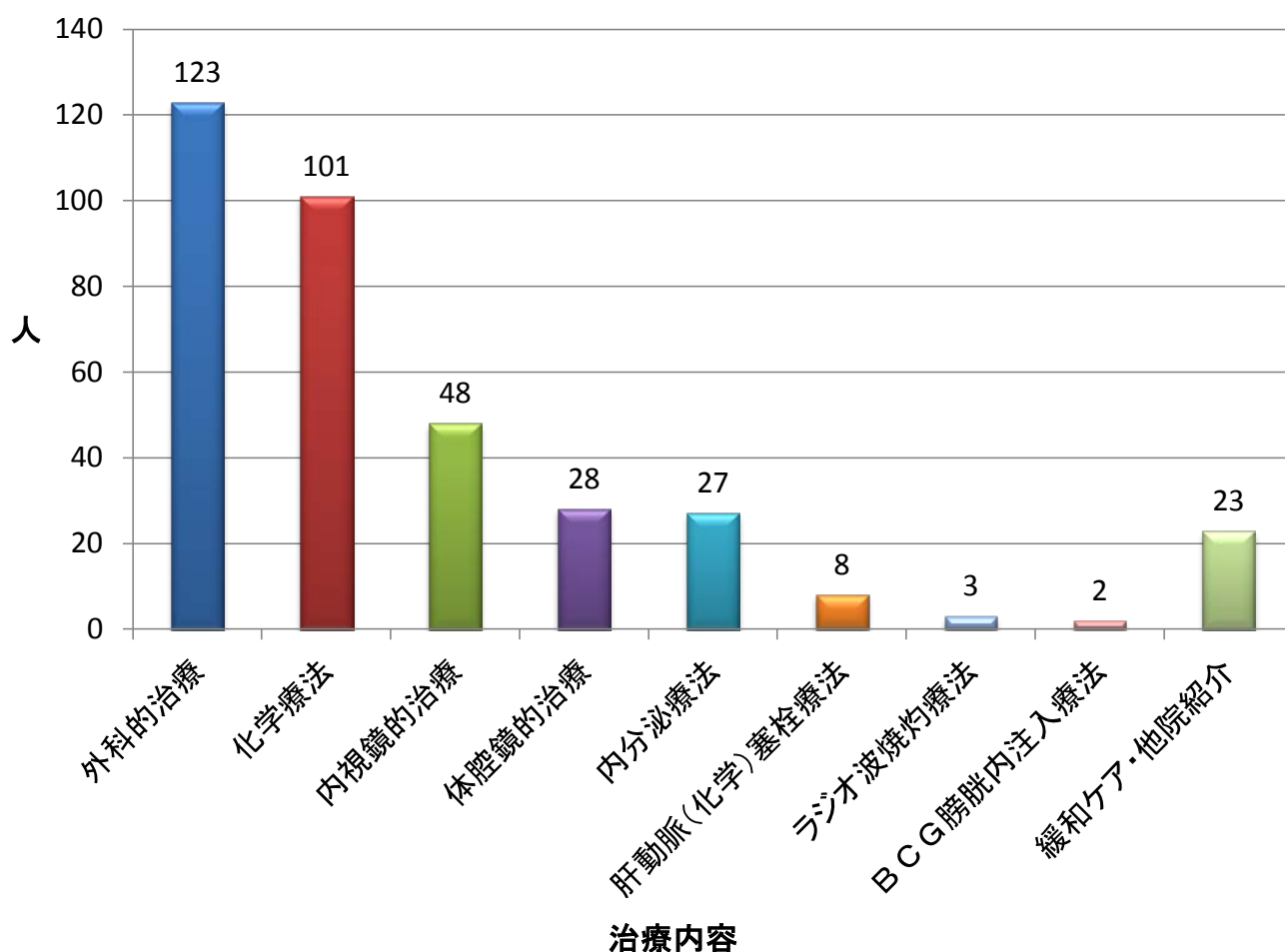
4. 初回治療内容別分析です。

開腹、開胸などによる外科治療が最も多く、次いで抗癌剤を使用する化学療法となっています。また、最近では胃内視鏡、大腸内視鏡、泌尿器内視鏡などを使用して行う内視鏡的治療と、腹腔鏡や胸腔鏡などを使用した体腔鏡的治療が増加しております。

初回治療	
外科的治療	123
化学療法	101
内視鏡的治療	48
体腔鏡的治療	28
内分泌療法	27
肝動脈(化学)塞栓療法	8
ラジオ波焼灼療法	3
BCG膀胱内注入療法	2
その他	23
合計	363

(※初回治療重複含む)

初回治療



◆住所別◆

5. 住所別罹患患者数の分析です。

地理的な影響から米子市が最も多く、次いで大山町、境港市、伯耆町、安来市の順となっております。また遠くからは鳥取市、松江市からも受診しておられます。

住所	
米子市	192
西伯郡大山町	41
境港市	40
西伯郡伯耆町	19
安来市	14
日野郡日南町	9
西伯郡南部町	9
西伯郡日吉津村	8
鳥取市	3
日野郡日野町	3
東伯郡琴浦町	2
松江市	2
その他	4
合計	346



住所別罹患患者数

